

静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2003.02.12

参加者 石浦（科学園）高松（仁美小）倉橋（西大寺南小）福井（伊島小）

嘔吐下痢が流行していますが、石浦先生もお腹の具合が悪く朝から休養されていたのに夕方から起きて例会の準備をしてくださいました。今回の例会は面白グッズの交換会の様相を呈していました。高松先生は前回紹介してくれた『ぐるぐる渦巻き』と『錯視：キリストの顔』のファイルを、倉橋先生はこれまた前回紹介してくれた『SMART notebook』のファイルと超廉価で手に入れた本格的なバイオリンを、福井は手品グッズ2点を持ってきました。

【錯視：小泉首相の顔】 倉橋

キリストの顔の錯視の作り方を研究し、オリジナル作品を作ってしまうのだからスゴイ。まず、はっきりした顔写真をパソコン上で二値化（白黒）し、さらに反転（ネガ）します。次に細い線（ダミー）を描き込むと完成です。細い線は残像としては残りません。このようにして出来たのが右図の様な作品です。これが小泉首相の顔だと驚きです。素晴らしい。



【手品：予言のトランプ・超能力マジック】 福井

写真のようにトランプをパラパラとめくり、相手に適当な所で「ストップ!」と言ってもらい、そのカードを渡します。すると予言のメモに書いてあるマークと数字がピットンコという寸法。もう一つは、マジックを机の端に半分はみ出して置き、念じると、やがて震えだし下に落ちるというマジック（手品）です。手品のトリックを見破るには、まずよく観察し、論理的に考えて予想を立てなければいけません。理科の授業に相通じるところがあると思います。



【子供新聞の記事・川を渡るパズル・SUPER IQ】 高松

錯視に関連して毎日小学生新聞の記事を持ってきてくれました。小学生新聞の科学記事はイラストが多く、大人にとっても分かりやすくGOODです。もう一つは古典的な論理パズルで、お坊さん3人と鬼3匹を渡し船にのせて向こう岸に渡すというもの。お坊さんの数より鬼が多くなると喰われるので組み合わせを考えなくてははいけません。次のURLでインターネットにつなげば同種のパズルがオンラインで遊べるそうです。<http://www.plastelina.net/games/game1.html> 3つめの『SUPER IQ』はプラスチックでできたパズルで、透明な立方体のマスの中に3種類で17個のブロックを入れるという単純なパズルです。ブロックの体積を足せばマスの容積と等しいのでピッタリ入るであろうことは予想できるのですが、これがちっとも出来ない。おまけに答えも同封されていない。悩みます。

【下村式 唱えて覚える漢字の本】 高松

借成社から700円で売られている漢字の本。小学校の各学年ごとにあります。「横ぼう、ワを書き縦書いて、チョンチョン4つでニムと書く」というように唱えて筆順を覚えるのですが、これをクイズにすると面白いそうです。ちなみに↑の字は「雲」ですね。分かりましたか？

【アルファベットパスタ】 倉橋

1cm大のアルファベットの形をしたパスタ。1袋453gで420円。ドッサリ入っています。学級のこども全員にローマ字で自分の名前を書かせてもまだまだ余ります。